



初等部だより 4月号

鎌倉女子大学初等部

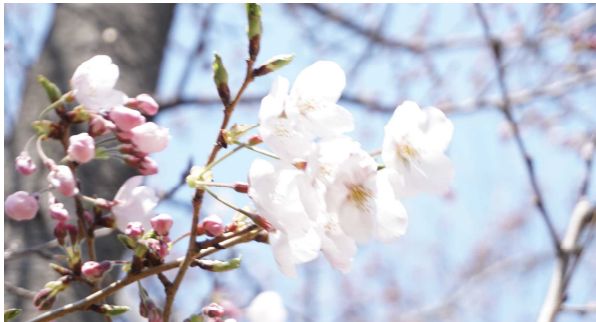
平成29年4月6日

第1号

ご進級おめでとうございます

部長代理 勝木 茂

柔らかな陽射しの中で、桜も満開に近づき新年度がはじまりました。同時に子どもたちの元気な声が初等部全体に心地よく響き渡っています。お子様のご進級、誠におめでとうございます。



さて、この春、昨年度までの松本安博初等部長がご退職され、後任に高橋正尚初等部長が就任し、わたくし勝木茂が部長代理を拝命することとなりました。微力ではありますが、これまでの公立小学校3校での校長経験を生かしながら初等部のために努力してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

明日7日（金）入学式を実施いたします。本年度は、74名の新一年生が入学してきます。一年生にとっては、とても広く感じるであろう松本講堂に、初めて出会った友だちといっしょに入場し、入学式がはじまります。入学式は初等教育のスタートです。ここから6年間で約1200日間登校し、7000単位時間（1単位時間＝45分：学校行事等含む）の学習をすることとなります。

初等部の子どもたちにとっての6年間、それは、いろいろな友だちや教師と出会い様々な経験を積み重ねる中で大きく成長する6年間となります。

ところで教育環境の中で最も重要なのは一人ひとりの教師であり、また、その教師集団です。手前味噌ではありますが、着任して最初に感じたのは、初等部の全職員の謙虚に学ぼうという姿勢と「よい教師になりたい」と

いう前向きさです。正直、「これは素晴らしいな」と感じました。おそらくそれは、本学が長年にわたって培ってきた伝統や校風が息づいているからだと考えます。

同時に、初等部全職員の持っている力を十分に発揮させ、建学の精神である「感謝と奉仕に生きる人づくり」を理念に「豊かなこころ」と「確かな学力」、「健やかなからだ」を身に付けた品位ある初等部生の育成に職員一丸となって向かいたいと改めて思いました。

また、日々の初等部の生活において大切にしたいことは、当たり前ですが一時間一時間の授業です。特に初等教育においては、ていねいさが求められます。教材研究をはじめ、板書計画、発問計画、ノート指導……。もちろん教科の授業だけではありません。健康安全指導、清掃指導、生活指導……。授業で分からなそうにしているその子を、友だちとうまくいなくて寂しそうにしているその子を見逃さない感性を磨いていくことも教師には必要です。感性を磨くことはていねいさに繋がります。初等教育では、ていねいに子どもを丸ごと育てていくという意識が大切であると思います。一人ひとりの子どもたちが瞳を輝かせて全ての初等部生活に臨む姿をめざしていきたいものです。



今年度におきましても、初等部の全職員が「子どもの成長にかかわる仕事をしている」というプライドをもって、日々新鮮な気持ちで臨みたいと考えます。

これまで同様、ご理解とご協力のほどどうぞよろしくお願いいたします。